

# 三重大学

住所 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

担当 地域イノベーション学研究科特任教授 朴 恵淑

URL <http://www.mie-u.ac.jp/>

TEL: 059-231-9157 park@mie-u.ac.jp

## ユネスコスクール支援内容

### 01 三重県立桑名高等学校の SSH 活動支援

桑名高校の SSH 活動支援のため、SSH 運営指導委員会の会長(朴恵淑三重大学ユネスコスクール 委員長)を務め、SDGs・情報(IT)・地球規模の環境問題などの探究研究活動に対する講演会・運営指導委員会(年間3回開催)・アドバイスなどを積極的に行っている。朴恵淑特命副学長は、「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP27;2021年11月及びCOP28;2022年11月)」への参加経験を踏まえ、国連の気候変動(気候危機)への緩和と適応についてグローバル動向を踏まえた地域の環境問題に貢献できる次世代のグローバル人材育成について講演及びワークショップを行った。その成果を踏まえ、三重県の環境行政に若者の意見を反映できる、ミッションゼロ 2050 みえ若者チームにおいて、桑名高校をはじめ三重県内のユネスコスクールの若者の意見を反映するなど、積極的な支援活動を行っている。

### 02 三重中学校・高等学校の生物多様性活動支援

三重中学校・高等学校の伊勢湾最大級の松名瀬干潟での生物多様性活動支援のため、三重大学・トヨタ自動車(株)・伊勢新聞・三重県・松阪市・三重中学校・高等学校との協働事業の「トヨタソーシャルフェス in 松名瀬 2022(2022年10月22日)」の委員長(朴 恵淑三重大学ユネスコスクール委員長)を務め、三重県内外からの参加者約190名による海岸清掃活動及び三重中学生・高等学生による干潟の水生動物・生物調査を通じた生物多様性活動の積極的な支援活動を行っている。



### 03 三重県内ユネスコスクール活動支援「三重県ユネスコスクール研修会 2022」の開催・「ESD for 2030 TOKAI 研修会」の共催

三重大学において「三重県ユネスコスクール研修会 2022; 2022年12月17日」を開催し、三重県内のユネスコスクールの教員と学生、関係者など約40名が対面式で集まり、三重県立桑名高校のSSHの成果と課題、三重中学校・高等学校の生物多様性活動の成果と課題、三重大学ESD-SDGsクラブの活動成果と課題発表を行い、自由討論の時間を設け、三重県の強みをさらに強く、弱みを補うユネスコスクール活動の活性化に向けた意見交換を行った。三重大学ユネスコスクール委員会の役割

として、産官学民との連携によるプラットフォームとしての研修会の開催・情報発信を積極的に行うことなどが議論された。また、ESD for 2030 TOKAI プロジェクト研究会(研究代表者；大鹿聖公愛知教育大学教授)との共催で、ESD 授業を通じた学びについて三重県の大学教員、小中高校の教諭、NPO とのパネル討論を行った。

## ESD 活動紹介(三重大学)

### 01 「第 16 回環境マネジメント全国学生大会」の開催・「三重宣言」採択

「第 16 回環境マネジメント全国学生大会(2022 年 6 月 25-26 日)」が三重大学において開催され、全国の 9 大学から 73 名の学生が集まり、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて各学生団体の ESD 活動に関する意見交換を行い、大学間の垣根を越えた交流を図り、三重大学の環境関連施設(風力発電、ガスコージェネレーションなど)の見学会を行なった。今後の発展的展開を図るため、SDGs と ESD・カーボンニュートラル社会・グローバル環境人材育成を軸とする「三重宣言」の作成・採択を行ない、今後の発展的活動が大いに期待できる。



### 02 「日韓環境・SDGs フォーラム in 三重～持続可能な社会・カーボンニュートラル社会に向けた国際環境協力と次世代人材育成」の共催

「日韓環境・SDGs フォーラム in 三重～持続可能な社会・カーボンニュートラル社会に向けた国際環境協力と次世代人材育成(2022 年 7 月 15 日)」が三重大学・駐名古屋大韓民国総領事館の共催で三重大学において開催された。朴惠淑特命副学長による三重大学の環境・SDGs の戦略的取組とグローバル人材育成及び韓国中央大学の金正仁教授による韓国のカーボンニュートラルと SDGs の動向に関する基調講演が行われ、その後、伊藤正明三重大学長、朴先哲駐名古屋大韓民国総領事、尾西康充理事・副学長、在学生と留学生などによる日韓の国際環境協力と次世代人材育成をテーマとするパネル討論が行われた。2030 年の国連持続可能な開発目標(SDGs)達成に伴う持続可能な社会創生及び 2050 年のカーボンニュートラル社会形成に向けて、「国連気候変動枠組条約締約国会議(COP)」の動向及び「世界保健機関(WHO)」の気候危機による健康被害の提言を踏まえ、三重大学が、日韓の国際環境協力と次世代を担う人材育成のプラットフォームとしての役割を果たすための教育・研究・社会貢献への発展的、戦略的取り組みについて議論が行われた。本シンポジウムの動画は、三重大学の YouTube チャンネルに掲載されている。

三重大学 YouTube チャンネル <https://youtu.be/3z-2sMVf5i4>



### 03 「四日市公害訴訟判決 50 周年シンポジウム」の開催

「四日市公害訴訟判決 50 周年記念シンポジウム (2022 年 7 月 23 日)」が三重大学において開催され、三重大学・三重県・昭和四日市石油 (株) ・WHO アジア太平洋環境保健センター (WHOACE) の関係者による基調講演・パネル討論を行ない、対面式とオンラインのハイブリッド形式で行われ、約 200 名の参加者が集まった。朴恵淑特命副学長は、国連初の人間環境会議がストックホルムで開催された 1972 年 6 月と四日市公害訴訟判決の 1972 年 7 月の歴史的動向を踏まえ、グローバル規模の地球環境問題と地域の大気汚染問題とはコインの表と裏のように、環境と経済、社会の調和の取れた 2030 年の SDGs の達成、2050 年のカーボンニュートラル社会創生において、四日市公害の過去の負の遺産を未来への正の資産に変えるべく、次世代の環境人材育成のための ESD-SDGs のトップランナーとしての持続可能な三重創生の提案を行なった。パネル討論において、産官学民のグローバルパートナーシップのプラットフォームとしての三重大学の役割についてパネリスト及び参加者との活発な討論が行われた。



### 04 「東南アジア 10 カ国の若手・中堅環境人材育成」の共催

「東南アジア 10 カ国の若手・中堅環境人材育成 (2022 年 12 月 2 日)」が、三重大学・JICA・ICETT の共催で開催され、東南アジア 10 カ国から 10 名、ICETT 関係者、三重大学の教職員と学生団体 (ESD-SDGs クラブ) の 45 名が集まり、ESD-SDGs に関する東南アジア諸国の現状について発表・意見交換を行った。基調講演において、朴恵淑特命副学長による国連気候変動枠組条約締約国会議 (COP) について、COP3 (京都議定書；1997 年 12 月) ・COP21 (パリ協定；2015 年 12 月) ・COP26 (グラスゴー気候合意；2021 年 11 月) ・COP27 (シャルムエルシェイク実施計画；2022 年 11 月) の国際動向を踏まえ、21 世紀の経済発展に伴う環境問題が最も懸念されるアジ



ア諸国の国際環境協力のあり方及び次世代を担う若者へのESD-SDGsの実現に向けた戦略について基調講演を行った。また、三重大学生とのワールドカフェ形式の国際ワークショップを行い、持続可能なカーボンニュートラルアジア社会創生に向けた、産官学民のグローバルパートナーシップについて、東南アジアの若手・中堅環境人材育成への国際協力について活発な意見交換を行った。



05 「サステイナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net JAPAN) 2022 第 10 回年次大会～持続可能なカーボンニュートラル社会に向けた地域連携と次世代人材育成」の開催

「サステイナブルキャンパス推進協議会 (CAS-Net JAPAN) 2022 第 10 回年次大会～持続可能なカーボンニュートラル社会に向けた地域連携と次世代人材育成(2022 年 12 月 3-4 日)」が三重大学において開催された。伊藤正明三重大学長の開催挨拶の後、朴恵淑特命副学長による基調講演が行われ、三重大学の環境・SDGs・カーボンニュートラル社会創生戦略とグローバル人材育成に関するトップランナーとしての三重大学の戦略及び成果などについて発表が行われた。続いて、サステイナブルキャンパス賞 (SC 賞) 授賞式が行われ、学生参画活動部門において三重大学 ESD-SDGs クラブが行っている、産官学民とのパートナーシップによるアドボカシー活動が高く評価され、SC 賞を受賞された。CAS-Net JAPAN のこれまでの 10 年とこれからの 10 年を見据えたシンポジウムにおいて、大学のみならず、企業・行政へのアピールを行い、産官学民の共同体としての CAS-Net JAPAN のさらなる発展的展開を図ることとなり、今後の発展に大きな転換点となった。



06 「世界遺産熊野古道を歩こう！」を開催

「世界遺産熊野古道を歩こう！(2022 年 12 月 18 日)」が開催され、三重大学の教職員と学生(留学生)の 24 名が参加し、ユネスコスクールの三重県立木本高等学校との連携によって日本語と英語による熊野古道のバスツアーを行なった。熊野古道は、紀伊山地の霊場と参詣道として世界遺産に登録されている。